

U.S. Indicators

米国 米製造業は好調さを維持し広がりに伴う拡大(17年3月ISM製造業景気指数)

公表日：2017年4月3日(月)

～内外需要が拡大ペース加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/03	51.7	57.1	55.7	48.5	47.0	50.4	51.0	51.5	52.0	49.5
16/04	50.7	54.9	54.6	49.2	45.5	49.1	50.5	59.0	52.5	50.0
16/05	51.0	54.8	52.7	49.3	45.0	53.3	47.0	63.5	52.5	50.0
16/06	52.8	55.6	54.8	50.0	48.5	54.9	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.3	56.1	54.8	49.3	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	48.9	49.3	48.7	49.0	51.2	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.7	55.0	53.3	50.0	49.5	50.8	49.5	53.0	52.0	49.0
16/10	52.0	54.1	54.4	51.8	47.5	52.2	45.5	54.5	52.5	52.0
16/11	53.5	54.8	55.6	52.5	49.0	55.5	49.0	54.5	52.0	50.5
16/12	54.5	60.3	59.4	52.8	47.0	53.0	49.0	65.5	56.0	50.5
17/01	56.0	60.4	61.4	56.1	48.5	53.6	49.5	69.0	54.5	50.0
17/02	57.7	65.1	62.9	54.2	51.5	54.8	57.0	68.0	55.0	54.0
17/03	57.2	64.5	57.6	58.9	49.0	55.9	57.5	70.5	59.0	53.5

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

製造業景気指数は57.2 と前月比0.5%ポイント 低下

17年3月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、57.2と前月比▲0.5%ポイント低下したが、高い水準を維持した(市場予想中央値57.0、筆者予想57.5)。ISM製造業景気指数は、ドル高の影響を受けながらも、国内需要の堅調さのほか、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加、世界的な需要の拡大、在庫調整の進展等を背景に米国製造業活動が活発化した状態を維持していることを示している。

総合指数を構成する項目では、雇用、入荷遅延が上昇したが、新規受注、生産、在庫が前月から低下した。新規受注は内外での需要の拡大を受け高い水準を維持しており、好調が継続することを示唆している。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用(前月比+0.94%p)、入荷遅延(前月比+0.22%p)が押し上げ寄与となった一方で、生産(前月比▲1.06%p)、在庫(前月比▲0.50%p)、新規受注(前月比▲0.12%p)が押し下げ寄与となり、総合指数は前月比0.5%ポイント低下した。雇用が高い水準に上昇し最大の押し上げ寄与となっていることは、製造業活動の活発化が雇用に強く波及し始めたことを示しており、製造業雇用の拡大ペース加速を示唆している。

総合(全18業種、下線は拡大、縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、電気設備・部品、印刷・関連サポート活動、家具・同関連、繊維、一般機械、一次金属、その他製造業、木材製品、非鉄、プラスチック・ゴム、紙製品、輸送機器、化学製品、コンピューター・電子機器、食品・飲料・タバコ、加工金属、石油・石炭の17業種(前月16業種)と前月から増加し、ほぼ全業種で拡大した。需要の強まり等を背景に、広がりを持った製造業の拡大が示されている。一方、縮小した業種はゼロ業種(ゼロ業種)となり、アパレルは変わらず。

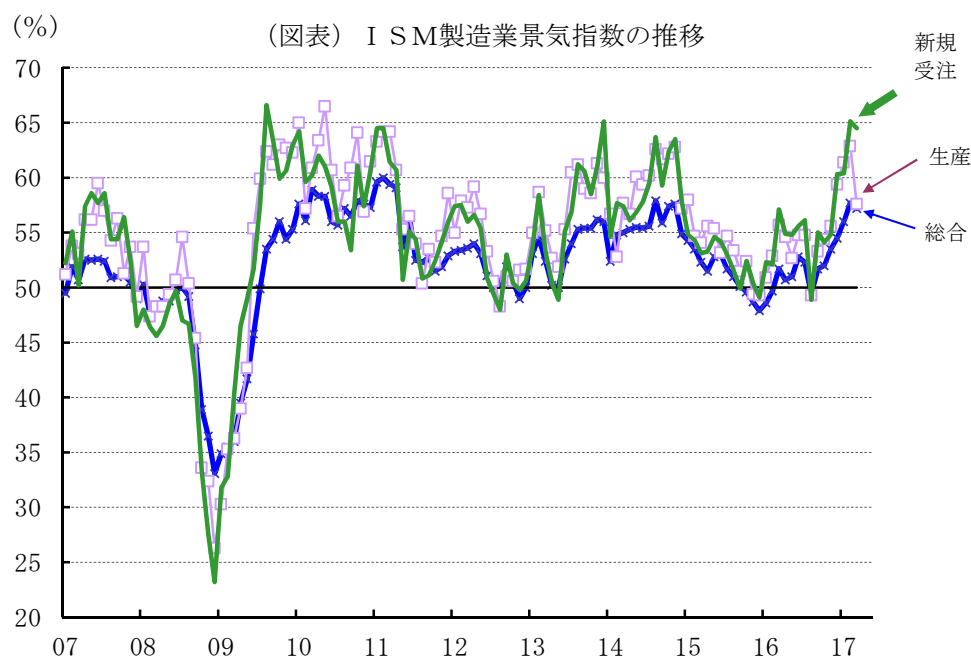
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

報告では、輸送機器を除き前向きな内容だった。化学製品は事業環境の改善が続いていると指摘されたほか、コンピューター・電子機器は見通しが良好と報告された。また、加工金属は、地域事業が強いと指摘し、一般機械は売上が10-15%増加したと報告した。さらに、家具・同関連では需要が強く、上向いていると指摘された。一方、輸送機器では見通しは横ばいが予想されていると慎重な報告となった。

なお、インフレ圧力の強まりが、食品関連、紙製品関連で指摘された。

製造業景気指数は目先高水準を維持も、ドル高の影響等により緩やかな拡大を示す水準に低下する公算

今後、雇用・所得の拡大等を背景に個人消費を中心とした国内需要が堅調さを維持するほか、世界経済の拡大が続くとみられる一方で、ドル実効レートは米国景気への楽観的な見方の高まりや利上げペース加速期待の強まり、米国への資金還流等の影響を受け、高止まりすると予想される。このような中で、ISM製造業景気指数は、数か月間高い水準を続け、製造業の緩やかな拡大を示す水準に徐々に低下すると予想される。



(出所) ISMデータより当社加工

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。